

# オープンキャンパス 2021 コース特別企画の御案内

## <国際関係コース>

13:00 ~ 13:30

### <<模擬講義>>

『「理解」は国際関係の学びにとって最大の障害である』



福原 裕二 教授

国際関係の学びとは、大雑把に言えば、生活圏の外部環境を把握することです。その外部環境では、異なる国籍の人びとや未知の文化や行動様式にあふれていて、これまでの経験や常識が通用しない（ことが多い）。

ところで、国際関係に対する「理解」って言うけれど、みなさんは「理解した」ということを、これまでの経験や知見によって培われた“狭い”範囲での理解力によって「分かった」ことだと思いませんか？ そんな「理解」は国際関係の学びにとって障害となります。

試しに2つの「誤解」の解消を通じて、国際関係の学びに招待します。

13:40 ~ 14:10

### <<模擬講義>>

『ことばが創る「世界」——国際社会におけるキリスト教』



渡辺 圭 講師

日本では、キリスト教徒の数は人口の1%ほどであると言われていいます。しかし、日本を一歩出ると状況は全く異なります。例えば、お隣の韓国では人口の28%以上がキリスト教徒であり、日本の同盟国であるアメリカでは実に人口の80%以上がキリスト教徒です。

キリスト教がここまで世界中に広がっているのは、この宗教が「ことば」の宗教だからです。ある人物の「ことば」が現在では世界の多くの国や人々の精神文化を創りあげています。そこで、この講義では、国際社会におけるキリスト教について考えていきたいと思えます。

# オープンキャンパス 2021 コース特別企画のご案内

## <国際コミュニケーションコース>

13:00 ~ 13:30

### <<コース紹介>>

『国際コミュニケーションコースの学び・教育の特徴・将来のキャリア』



江口 真理子 教授

国際コミュニケーションコースで学べること、教育の特徴、将来のキャリアを説明します。

国際コミュニケーションコースの学びは4つの柱から成り立っています。確かな英語運用能力、第二外国語の運用能力、言語学の専門知識、コミュニケーション学の専門知識です。ネイティブスピーカーによる少人数クラスと世界の大学との英語による交流授業を通じて、卓越した外国語の運用能力と異文化理解力とコミュニケーション力を身につけ、グローバルに展開するビジネスにおいて活躍できる人材を育成します。より良い社会を作るために国際コミュニケーションコースと一緒に学びましょう！

13:40 ~ 14:10

### <<模擬講義>>

『「世界の中国語」から「中国語の世界」まで』



丁 雷 准教授

2020年の中国のGDP（国内総生産）は15兆5800億ドルに達し、世界第2位です。この数字は世界第1位のアメリカのGDP（20兆9500億ドル）の74.3%に及びます。経済力が急速に伸びるにつれて、中国語の重要性もますます明らかとなっています。

今回は、文字、使用地域、発音の特徴、学習の難易度の4つの面から、中国語の意義や中国語を習得するコツについて総合的に紹介します。

また、島根県立大学の中国語教育の特徴や中国との国際学術交流についても触れます。今回の紹介を通して、本学の中国語教育についてより一層理解を深めていただければ幸いです。

# オープンキャンパス 2021 コース特別企画のご案内

## <地域経済経営コース>

13:00 ~ 13:30

### <<コース紹介>>

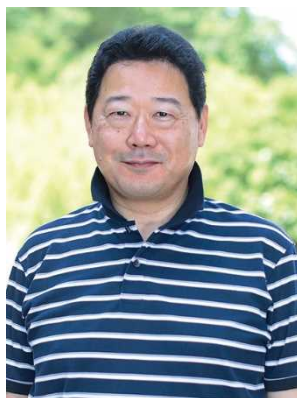
『地域経済経営コースの学びや学生生活について』



金野 和弘 教授



林 秀司 教授



村山 誠 教授

本学学生

地域経済経営コースでは一体どのようなことが勉強できるのだろうか。学生はどのような大学生活を過ごしているのだろうか。そんな受験生の皆さんの疑問にお答えします。

①経済学、経営学がそもそもどういう科目なのか、②どのような科目が履修できるのか、③学生がどのように生活しているのかについて、教員目線だけでなく学生にも話してもらい、わかりやすく説明します。

お話を聞いてもらえば経済・経営という学問や大学生活の中身がよくわかってもらえると思います。受験生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

13:40 ~ 14:10

### <<コース紹介>>

『地域経済経営コースの入試や卒業後の進路について』



久保田 典男 教授



西藤 真一 准教授



鈴木 遵也 准教授

本学学生

地域経済経営コースが求めている人材って一体何だろうか。卒業後の進路はどうなっているのだろうか。そんな受験生の皆さんの疑問にお答えします。

①地域経済経営コースがどのような入学者を受け入れようとしているのか、②入試を通じてどのようなことを問おうとしているのか、③大学での学びをいかしてどのようなところに就職しているのかについて、学生の体験談に基づいて詳しくお話します。

これらのお話を通じて、入試や就職先についての具体的なイメージを持ってもらえると思います。受験生の皆さんのご参加を心よりお待ちしております。

※令和3年7月1日現在の予定です。

# オープンキャンパス 2021 コース特別企画のご案内

## <地域公共コース>

13:00 ~ 13:30

### <<コース紹介>>

『地域公共コースの学びと大学生のキャリア形成』



松尾 哲也 准教授

地域政策学部 地域公共コースの特色について紹介します。具体的には、地域公共コースの多様な履修モデルから、地域公共コースで学ぶことができる科目の概要や想定される卒業後の進路等について解説します。

さらに、キャリア教育の観点から、大学生活の送り方と大学生のキャリア形成についてもお話しますので、地域公共コースに興味がある方だけでなく、他のコースに興味がある方のご参加も歓迎いたします。

13:40 ~ 14:10

### <<模擬講義>>

『政策の課題の読み解き方ー男女共同参画関連政策を事例にー』



角 能 准教授

性別によらず多様な人生の選択が可能な社会という男女共同参画社会を志向して男女共同参画社会基本法が施行されてから 20 年が経過しました。一方で、女性の貧困や男女賃金格差など課題は山積しています。他方で、ただ政府が悪いと嘆くだけでは問題解決に向けて前進することはできません。

今回の講義では、政策のどの部分が原因でどのような事態が発生しているのかを考える方法の一部を紹介してみたいと思います。

# オープンキャンパス 2021 コース特別企画のご案内

## <地域づくりコース>

13:00 ~ 13:30

### <<コース紹介>>

『地域づくりの学びの目標について』



宮下 聖史 准教授

地域づくりコースのアドミッション・ポリシーは以下の記述から始まります。「地域の人々と密接なコミュニケーションをとりながら、地域の見落とされている価値や資源を発掘し、地域が直面する課題に自分独自の解答を見出すことができる『地域で生きる自立型人材』を育成します」。地域づくりコースの学びはここに向かって組み立てられています。

今回はそれに沿って、地域づくりコースの入試、カリキュラム、特徴的な授業などを分かりやすく説明します。

13:40 ~ 14:10

### <<模擬講義>>

『いま島根が面白い！～地域づくりの歴史と先進性』



田中 輝美 准教授

「過疎」という言葉を聞いたことがあるでしょうか。島根県は「過疎」の発祥地であり、人口減少も進んでいますが、だからこぞ、全国に先駆ける形で、先進的な地域づくりが行われています。あらためてこれまでの島根県の歴史を振り返りながら、どのような対策を進めてきたのか、それが全国的にどのような位置づけとなっているのか、一緒に学んでいきましょう。島根県や地域づくりに関心がある、気になるという方はぜひ、気軽に参加してみてください。お待ちしております！